小学生新聞

編集委員
小学六年　木下　ゆり
三年　三船　ゆうや
三年　大谷　田　あさ
メンバー
山口　千さ

2008年11月20日

クワガタ虫のひみつ

たくさんのクワガタ虫

クワガタ虫のしゅるいがせかいだとおよそ九百しゅるいもあるなんてやっぱりクワガタ虫はすごいなぁと思いました。

せかいのクワガタ虫をちょっとあしえます。スッククワガタ、キベリツヤクワガタ、アカアシクワガタ、ヒラタクワガタ、オウゴンオニクワガタ千ポリクワガタ、コクワガタなどです。あとは、図かんとかでしらべてください。日本には三百しゅるいほどもいます。ぼくはそんなにクワガタ虫のしゅるいがあるんだぁと思いました。さいしょは、百しゅるいくらいだと思っていました。

あごの形やはの数、体の大きさがしゅるいによってちがいます。

ぼくは、おばあちゃんの家に行った時に、ノコギリクワガタのオスを見つけたことがあります。七センチぐらいもありました。見つけた時はびっくりしました。ノコギリクワガタのあごは、牛みたいにカーブしています。

クワガタのしゅるいをぜんぶ知りたいです。ぼくはカブト虫より、クワガタ虫がすきです。

みなさんはどちらがすきですか。

ミヤマクワガタのバトル

せ、かくメスに出あったというのにべつのオスがじゃまにはいることがあります。とちゅうかむあをそり上げます。大あごを上につきあげて、おどかしのしせいをとります。おどかしのしせいだけで、にげだすものもいます。でも、それだけではなかなかゆずろうとしないものもいます。そうなったら、どちらもまけてはいられません。一ぴきのメスをめぐってオスどうしのはげしいけんかがはじまります。壁には、どちらかがしがみついている木からおいてのあをはがして、地上にころげおちるまでフブくことがあります。木のかわからつめをはがされると、もう力がでません。地上にころげおちてしまいます。またべつのえさのいかみをさがします。

ひまわりのひみつ

花がおわると、かんじょう花の一つ一つの子ぼうが、みになります。このみは、はじめにまいたのとおなじで、春にまくと、また目が出て、生長します。たねとよんでいますが、じつはみです。このみの中にたねがあります。

夏になると、花がさきます。この花は、外がわにぜつじょう花、内がわにかんじょう花の二しゅるいの小さな花が、たくさんあつまったもので頭花といいます。

ひまわりがせかいでたくさん作られているのは、かんしょうようのためばかりではありません。ひまわりのみからとれるあぶらは、とてもしつのいいあぶらなので、ヨーロッパなどではごくふつうにりようりにつかうあぶらとして人気があります。せかいでつかわれているあぶらとしては、ダイズあぶら、パームあぶら、ナタネあぶらなどについでだい四いのせいさんりょうをほこっています。

あぶらがヨーロッパとかで人気があるんだぁと思いました。ぼくはどうしてみのあぶらがそんなに人気なのかなと思いていました。でも人気があっていいなぁと思いました。ひまわりがもっとすきになりました。

木の王さま

みなさんは、とがすきですか。ぼくはすきです。

とがは、森やジャングルに一ぽんでいます。大きな木とがんぴょうなつるでからみついのしんなどをまきつけて食べます。

とがらのの足のうらの色は白です。とがのりざは日本にあります。とがのんびは十おあります。

とがは森の王さまとよばれています。とがの体の長さは一・四～二・八メートルもあります。

とがは、ねこのなかま間です。ぼくにもとがにたかまがいます。とがは夜にかりをします。

ぼくは、とががいのしゝやしかやとかないも食べてるなんて知りませんでした。

ベンガルトラ
(インド中国・インドネシア・シベリア)

たねのたび

たねをつつんでいたみのかわをはじけさせ、その力でたねを遠くへとばしてちらばる花があります。たねを地めんにこぼしおとすだけでは、もとの場しょに、かなりおうようめが出て来て、おたがいの生長をひやましします。

しかし、はじけとぶたねは、広い場しょにうえることができるので、ねがかさなりあうことも少なくなります。

みなさんはヤマフジを知っていますか。ヤマフジは、十二月から、一月にかけて、たねがおちます。冬の晴れた日に、とつぜんパチパチというはげしい音がなって、みのさやがねじれるように、さけて、中にあるたねを四、五メートルとばします。たねはたいらでつやがあります。

ほかにも、たねをとばすねは、いろいろあります。カタバミや、ホウセンカなどもそうです。

ほかにもっぱさともつ下ねがあります。風の力を、かりて、遠くへたねをとばすしくぶつです。みやたねに毛をうけるとくべつなつばさがついています。

カエデのたねがちる時きは十二月からヶ一月です。カエデはつばさをもたねの中でもゆうりです。春あたらしいはっぱをいらくのといっしに、花がさきます。めしべのつけねに、ある子ぼうに、つばさがニまいついてゾで、たねがじゃくすのにしたがって、つばさも長しています。秋、はっぱが見づくころに、たねはじゅくし、みについているつばさが風をうけてくるくるとまわりながらうちりはじめます。

カエデのみは、プロペラのようにつがあわさってできています。子ぼうの外がわのがわみどり色のぶ分が、やがてのびてつばさになります。

朝がおクイズ

1 もん目
朝がおのつるは、左まきでしょうか右まきでしょうか？どっちかな？

2 もん目
つぼみは、左まきでしょうか右まきでしょうか？もあてて下さい！

3 もん目
おなじかぶにおなじ色の朝がおがさくかさかいか？どーちだ！

4 もん目
花がさいてあのもとがだんだんふとくなってしょうやせるでしょうむずかしいから、がんばってね。

5 もん目
九月のおへやにかうつは、なんこはいっているのかな？ヒントは、とてもむずかしいよ。

6 もん目
朝がおのなかまは、その花でしょう。
①チューリップ
②よるがお
③ひるがお
すごくむずかしいよ。

あとがき

ぼくたちはしん聞の紙を書いていた分、上手にとどめました。だいめいを書く時にくふうしたからもむずかしかったです。だいめの時はむずかしかったです。